

主 文

本件抗告を棄却する。

理 由

本件再抗告の趣意は、別紙書面記載のとおりである。

所論第一点は、違憲をいうが、実質は単なる法令違反の主張であり、同第二点は、判例違反をいうが、引用の判例はいずれも事案を異にして本件に適切でないから、いずれも少年法三五条に定める適法な再抗告の理由にあたらない。

よつて、少年審判規則五三条一項、五四条、五〇条により、裁判官全員一致の意見で、主文のとおり決定する。

昭和四三年一月三十一日

最高裁判所第二小法廷

裁判長裁判官	奥	野	健	一
裁判官	草	鹿	浅	之 介
裁判官	城	戸	芳	彦
裁判官	色	川	幸	太 郎